

社協だより

NO. 109

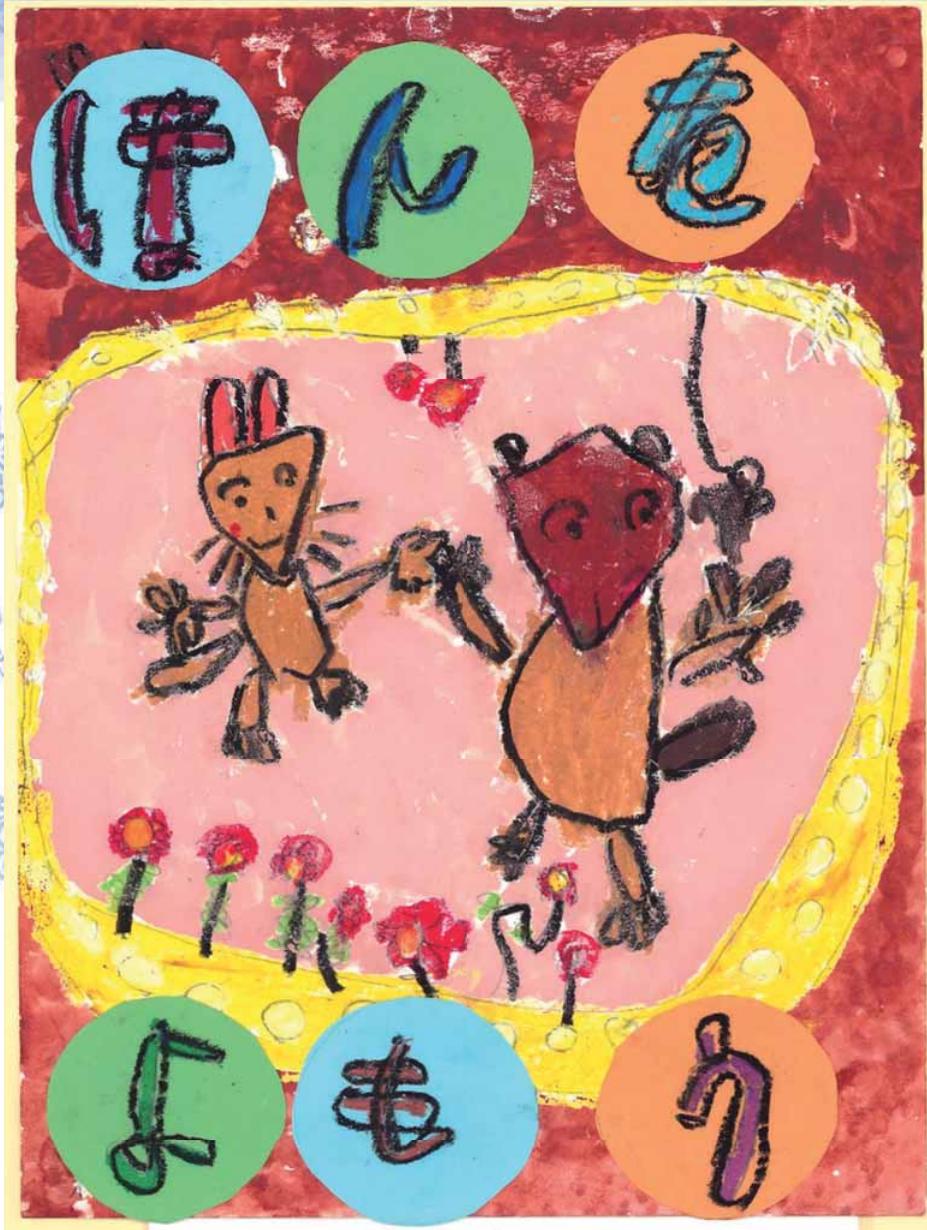
# 福祉よさちゅう

令和3年12月発刊



第一回土佐町読書推進作品展 最優秀賞

土佐町小学校一年 近藤葵羽さんの作品



土佐町は読書の町宣言から10年がたちました。小学校では、読み聞かせボランティアが年間延べ約210人参加し、

本を通じて心のつながりが広がっています。スマホをおいてテレビを消して、静かに本を開いてみませんか？



社会福祉法人 土佐町社会福祉協議会

〒781-3401

土佐町土居 206 保健福祉センター内

電話 82-1067 82-1069 (FAX)

メールアドレス [tosasameura@shirt.ocn.ne.jp](mailto:tosasameura@shirt.ocn.ne.jp)

ホームページ <https://www.tosa-shakyo.or.jp>



# 「もったいない」を「ありがとう」へ

嶺北観光自動車×NPO 法人こうち食支援ネット×社協が連携

# 食



## の支援活動に取り組んでいます。

Q なぜバス会社でこのような取り組みをしようと思ったのですか？

マイクのアイコン **嶺北観光自動車 代表取締役 竹内譲二さんにお聞きしました。**

花のアイコン **お客様あってのバス会社** 花のアイコン

こうち食支援ネットや社会福祉協議会とご縁のある社員があり、フードドライブのお話をいただいたのがきっかけです。

当社の営む路線バス事業におきましては、マイカー等の交通手段を持たない方々への最後の砦として捉え、半世紀にわたりバス路線維持に努めてまいりました。

住民の皆様の暮らしを支える交通を維持するためには、関係自治体はもちろんのこと、**地域住民の方々の支えがあって初めて成し得る事**であります。

まさにこの活動は、当社の経営理念「**地域社会への貢献**」に値する取り組みであると感じました。

田井のバス待合所が、どなたでも気軽に利用しやすい場所であるという利点を活用し、令和3年8月に寄附していただける食品を入れるボックスを設置しました。

設置以来、一週間に一度ほどのペースでご寄付をいただいている、正直驚いております。住民の皆様への恩返しの意味も含め、取り組んでおりますが、**ボックスに入っているものは、食品だけでなく「心」だと気づかれます。**

本当に感謝しております。

ささやかではありますが、この取り組みが地域の方々の**支え合いの手を結ぶ活動になれば**と思っております。



おかあさん！  
買ったけど、つか  
わんかったものが  
棚にいっぱいある  
で！どうするが？



そうやね  
買いすぎたがよ  
もったいないき  
フードドライブに  
もっていって  
みようかねえ

社協が届けてくれ  
たき、おそそわけを  
いただいたよ  
助かったよ  
ありがとう



ストーブがおかれ、Wi-Fi も設置された暖かな待合所の隅にボックスがおかれています。

ボックスの中には、調味料・麺類・缶詰などいろいろな食品を入れてくださっています。嶺北観光から連絡を受け、土佐町社会福祉協議会が受け取り、もらっている方や必要としている方にお届けしています。



↑  
**活動にご賛同いただける  
方々にお願い**  
•賞味期限が1ヶ月以上あるもの  
•常温で保存可能なもの  
(生ものや冷凍食品・アルコール類  
はお受け取りできません)  
•未開封のもの  
をご寄付いただけすると幸いです。



みなさんこんにちは  
みんじょうくわいん 協議会  
会長の和田純一です。



みんせいいいん

## 民生委員をご存じでしょうか？

民生委員は、民生委員法に基づいて、住民の中から選ばれ、地域福祉の向上のために厚生労働大臣から委嘱された「民間の奉仕者」です。

地域で、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める者であり、「児童委員」を兼ねています。

また、民生委員法に定められた民生委員協議会と、児童委員の活動要領に示された児童委員協議会を合わせて、民生委員・児童委員協議会、略称「民児協（みんじきょう）」とも呼ばれています。土佐町は民生委員の定員が30名 内2名は主任児童委員となっています。

児童委員は、地域の子どもが元気に安心して暮らせるように、見守り、子育ての不安・心配事などの相談支援を行います。

民生委員は、民生委員法第20条に基づき、自治体ごとに民生委員協議会を組織し、事務局は、土佐町社会福祉協議会にあります。

民児協は職務に関する連絡調整や、必要な資料及び情報の収集、事例の検討など、よりよい民生委員の活動をしていくために必要な支援や事務などをしています。



## 見守り



## どんな活動をしているの？

「最近までお元気でしたのに、体調を崩しているようで心配です。遠くから通って介護をする家族も大変そう」「ご両親が近くにいないので、おかあさん一人で子育てをがんばってるよ」「近所の飼い猫が増えて迷惑している」など、地域の皆様からの情報を受け、気にかかるご家庭などに訪問活動をおこなっています。生活の状況は、日々変化していくので、日頃の地域活動などに参加しながら、心配な家庭はないか、見守りに努めています。



## 相談



ご本人やご家族のご希望に沿い、相談を受けます。民生委員児童委員は、地域の皆様に一番近い相談役です。プライバシーの保護や人権尊重を基本に、寄り添いながら困っている事、心配な事などをお聞きします。

「人に迷惑をかけるから」「家族でなんとかしなければ！」と抱え込んでしまわないように、不安を取り除いたり、生活課題を解決していくために、どのようにすればいいのか一緒に考えていきます。



## つなぐ

しかし、民生委員が何でも解決できるわけではありません。

ご本人の希望により行政や社協と連携して色々な専門機関につなぎ、制度を利用できるようにしたり、よりよい解決策を見出せるようにお手伝いをします。

私たちの 私たちによる 私たち・地域のための

# 第6次地域福祉活動計画

やっと落ち着きを見せ始めたコロナ禍で、旧小学校区別に活動目標の達成・実現にむけ、それぞれの地域で取り組みが進められています。今回、その取り組みの一部を紹介させていただきます。

**平石**  
小学校区

**防災をすすめよう**  
**～119の訓練に住民も参加～**

11月9日（火）に行われた土佐町消防団が行う火災想定訓練に併せ、地元の平石消防団をはじめ、地域の方も防災活動に参加しました。ひらりん公園付近からの出火を想定した消火訓練には、平石地域の自主防災組織の方も参加、またあつたかふれあいセンター平石のつどいの参加者は訓練の様子を見学するなど、地域全体で防災活動に取り組む一日となりました。



**自主防災組織と、消防団  
の連携した消火活動など  
を見守る地域の方々**

**森**  
小学校区

**活動計画の実行部隊をつくろう**  
**～森地域集落活動センター推進協議会～**

9月26日（日）、コロナ禍で野中祭（夏祭り）が2年中止となり、草木で荒れていた“森中跡公園”を「地域のみんなが気持ちよく集える公園に…」と、森地域振興会が清掃活動を呼びかけ、65名の方が参加し草刈や花壇の整備を行いました。その際、森地域振興会のメンバーが会員の募集を呼びかけ、10月22日（金）には総会を実施しました。「森地域集落活動センター推進協議会」として新たに立ち上がったこの会は、これから、地域の環境美化活動や交流活動などを通じて、地域のつながり作りや地域の活性化に取り組んでいく予定です。



**今後の取り組みを会員で、  
現在話し合っています**



# 地域住民のつながりを高めていこう ～中島地区防災訓練～

毎年実施している懇談会で、地区の活動目標を住民相互のつながり、緊急時・災害時には独居高齢者へのサポートができる関係づくりが必要との意見が出ています。

地域のつながりづくりの手段として、防災活動や環境美化活動を利用して、普段から挨拶や立ち話ができる地域になりたいとの意見も出ていました。

今回は11月6日（土）カレーの日に併せ、地区防災訓練を実施しました。地元消防団員7名を含む参加総数43名が中島児童公園に集合。消防団員が先導して川に向けて放水。参加者が順番に初期消火体験をしました。



中島地区のどこに消火栓がある？ 水はどこからとる？

など、それぞれが自分の家の近くの消火栓についての話で盛り上がっていました。

約1時間で訓練終了。その後は婦人会の方々が準備してくれた猪汁と、おむすびをいただきながら談笑。材料に使った猪肉や、家で作った漬物、収穫した柚子のおすそ分けもあり、それぞれが食べ終わった正午ごろに解散となりました。

参加した若い世代のお母さんも、シルバーカーを押して来た高齢者も、熱心に聞き入っていたおじさんも、顔見知りになれたこれを機会に、普段からの挨拶や、ちょっとした立ち話に発展していきそうです。



# ひろがるつながるボランティアセンター



“ペットも人も幸せに私たちにできることとは…”をテーマとした講座を開催



11月27日、高知市で犬やネコの保護活動を支援している団体、NPO法人アニマルサポート高知家の吉本由美さんと掛水恵子さんから、活動紹介やペットを飼う時の心構えについてのお話がありました。また、土佐町役場担当職員から保護犬やネコに関する相談等の状況や行政の取組みについて紹介があり、その後参加者同士で問題点や自分たちができることなどの話し合いを行いました。

この講座を開催した経緯としては、犬・ネコを生きがいにしている方、糞尿の被害をうけて迷惑している方、多頭飼いによって劣悪な状態で飼われている動物たちなどなど、地域から様々な声が届けられたことがきっかけでした。

今回の講座ではペットも人も共存するために、何か必要か、何ができるのか等のアイディアを出し合うことができました。大変難しく一足飛びには行かない問題ですが、今後も勉強会を開いていく事が話し合われました。



## 傾聴ボランティア養成講座開催



11月20日、傾聴の基本的な知識や技術を学ぶ、傾聴ボランティア養成講座を開催しました。14名の方が参加され、人の気持ちに寄り添う「傾聴」について実技も含めて学びました。参加者からは「心が穏やかになる聞き方は難しいけど大事なことですね」等の感想がありました。

## RYN部「嶺北のお土産づくり」活動支援

地域への貢献活動をおこなう嶺北高校ユースネイバーズ部（通称 RYN）が嶺北地方のお土産づくりに取り組みました。高知の老舗お菓子メーカー庄壽庵さんとタッグを組み、ついにできました！その名も「サクッとれいほくおすそわけ」。商品開発までの間、少しだけ社協もお手伝いをさせていただきました。土佐町では現在、道の駅土佐さめうらと末広で購入することができます。高校生のアイディアとデザインが形になったお菓子を購入して、嶺北高校の活動を応援しましょう！



# 参加者大募集



## フレイル予防教室

R4

1/21  
(金)

R4

2/18  
(金)

R4

3/18  
(金)

【時 間】午後 1:30~2:30

【場 所】保健福祉センター 2階  
あじさいホール

【講 師】健康運動指導士 前田 郁 氏

一人で悩まないで

## 土佐町介護家族の集い

【日 時】R4年 1月20日 (木)

午後 1:30~3:00

【場 所】保健福祉センター 1階  
機能回復訓練室

【連絡先】

土佐町地域包括支援センター 電話 82-2557  
土佐町社会福祉協議会 電話 82-1067

## いざという時に備えよう 女性目線にたった防災 (仮)

【日 時】R4年 1月 29日 (土)

午後 1:30~3:30

【場 所】保健福祉センター 2階  
あじさいホール

【講 師】安芸市自主防災組織連絡協議会女性部会長  
仙頭 ゆかり 氏

【共 催】あすなろ会・土佐町社会福祉協議会

## 介助ボランティア養成講座

突然のケガや介護にも役立つ!  
車イス介助や、福祉用具について学びます。

【日 時】R4年 3月 19日 (土)

午後 1:30~3:30

【場 所】土佐町立図書館横 多目的ホール

【講 師】山本 満壽子 氏

地域やグループで「なにか学びたいな~」「今度集まりがあるけど何か企画したいな~」などと思った時は、ぜひご相談ください。下記の内容は一部ですが、健康や防災、介護など様々なテーマを計画しました。日程や内容、会場や講師、感染対策等についても一緒に考えます。

※詳細は土佐町社協ホームページに掲載しています。

杜協  
出前講座



タイトル	講座内容
認知症学習会 ～認知症になっても安心して暮らせる まちにするために～	認知症に関する基礎知識、接し方や心構えについて学びます。
住みやすい地域を考えよう	地域の現状を知り、より良い地域づくりに向けた取り組みと一緒に考えます
万が一に備える!	救急救命・応急手当などについて 技術を交え学びます



「回想法」昔のことを思い出して楽しく語り合おう・・・

東石原の地域のつどい“桜会”のみなさんと回想法をおこないました。昔のカメラやお金、写真を見て「なつかしいねえ」「これをもって、アイスケーキ買いにいきよったねえ」とあの頃を思い出し、自然と顔がにこやかに。「昔の思い出を語る」ことは日常のなかで自然としていますが、よく知れた人たちと語り合うことで、より喜びやたのしさを感じますね。

# あったかふれあいセンター つどいの様子

南川

コロナ禍での1日研修旅行♪土佐町内限定だったのですが、皆さんお出かけできるだけで大喜び。朝「選挙に行く便がないから今回は諦める…」という会話が聞かれたので、役場に寄り期日前投票を済まし、神祭の準備や食材を買いたい声があったので、JAグリーンと末広でお買い物をしました。今回は、参加者の希望を叶える旅となりました♪

さめうら荘



桂月館見学



期日前投票

土佐町大渕



とんからりん

「とんとんとんからり～ととなりぐみ～♪」とんからりんの家から歌声が消え、食事作りも中止になってから、もうすぐ2年。人数制限を行い感染予防をしながらのとんからりんは、活気がある集いとは言えず、ボランティアスタッフのやる気も失いかけたところに、10月の研修旅行が実現。全員でバスに乗ることは控えて、曜日ごとに出かけることになりましたが「きれいな景色を見られて気が晴れた」「ゆっくり話が出来て良かった」と、皆さん大満足で笑顔・笑顔のお出かけ日となりました。



# 平石



「おはようございます。これ、飾って！」とお家に咲いている季節の花を持ってきてくれます。「きれいやね！この色はめずらしいねえ」「いつもありがとう」と花を見ながら話がはずみ集いが始まります。この日は、てくてく体操で体を動かした後、魚釣りゲームをしました。

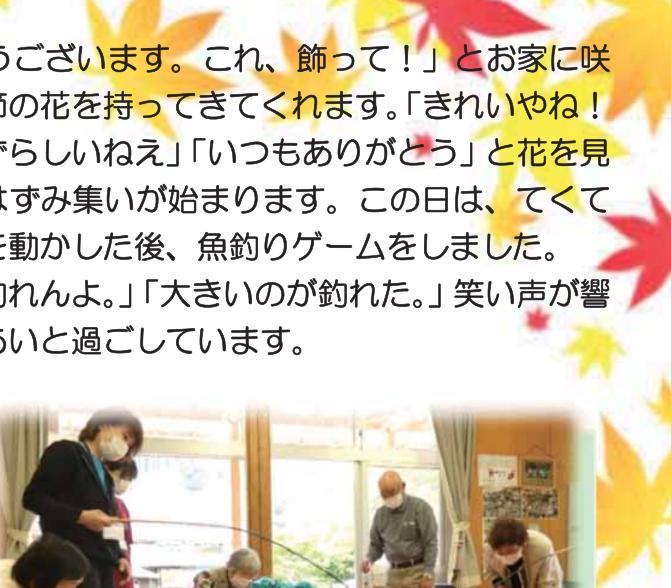
「なかなか釣れんよ。」「大きいのが釣れた。」笑い声が響き和気あいあいと過ごしています。



# 森

毎週続いていた集いがコロナ禍で1ヶ月お休みとなり、参加者の筋力低下や気持ちの落ち込みが心配されました。10月から再開。「元気にしようたかよ、やっぱりこうやって顔を合わせると気分が晴れるね」と喜び励まし合いました。

からだを動かす日、手芸をする日、ゆっくりおしゃべりする日などつどいの内容も幅広くなり「だんだんと楽しいことが増えてきたね」「もうすぐしたら、お出かけもしたいねえ、、」といった声も☆“心もからだも元気に”を目的につどっています。



# 楽しく集えて 笑えて そしてためになる 土佐町老人クラブ連合会

集え！競おう！ろうれんピック  
わなげの部準優勝！

11月5日に県立春野総合運動公園にて行われたろうれんピック輪なげの部に土佐町より5名が出席しました。

今大会唯一のパーフェクトを出した筒井君子さん（90歳）は会場で多くの方から注目される中、得点を重ね堂々の準優勝となりました。筒井さん、おめでとうございました！



## 南川お茶畠剪定作業をしました



和田豊会長はじめ、10名の会員の協力を得て、南川お茶畠の剪定作業が行われました。茶摘み以来、手入れをしていなかった畠は、雑草が生えたりして大変な状態に。しかし、みなさんの手際の良い作業のおかげで畠は見違えるようにきれいになりました。春にはもう一度剪定をし、5月の茶摘みに向け準備を進めます。



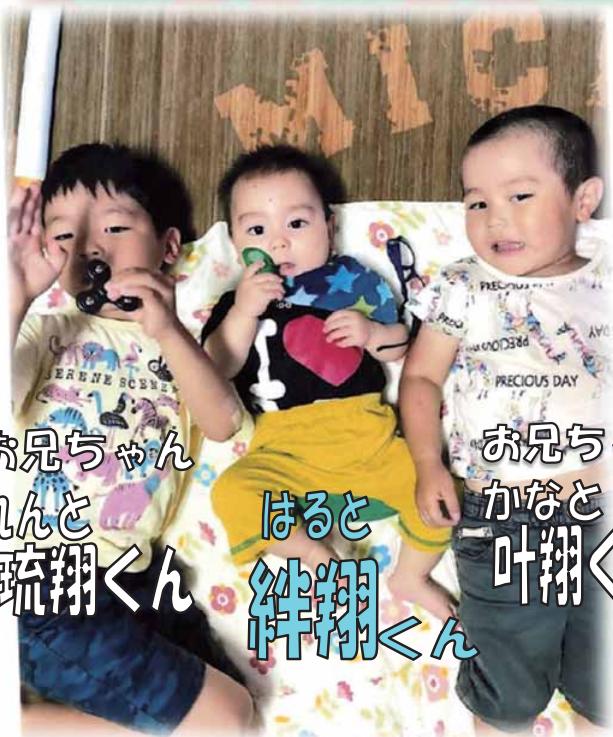
おつかれ  
さまでした

## 初めてのスマートフォン教室開催！



ドコモショップ高知インター店のスタッフの皆様を講師に迎え、会員14名が「初めてのスマートフォン教室」を受講しました。この教室は、全くスマートフォンを扱ったことがない方でも安心して参加し、5日間の受講を経てスマートフォンを使えるようになるのが目標です。受講者は、最初は恐る恐る触っていましたが、講座を重ねていくとすいぶん慣れてきたようでした。今後、仲間や家族とのコミュニケーションなどに活かしてもらいたいと思います。

# ひよこぐみ写真館



(桿)

みぞぐち

溝口

はると

絆翔



79号



79号

くん

令和2年9月28日生まれ

末っ子で甘え上手な  
はると♪  
これからも2人の  
お兄ちゃんと一緒に  
元気にすくすく  
大きくなってね★



パパ 翼さん ママ 美和さん

(田井) わだ むぎ

和田 麦ちゃん

令和2年1月2日生まれ

お姉ちゃん・お兄ちゃんと一緒にたくさんの事を  
経験しながら心豊かに  
大きくなあれ☆



お兄ちゃん

こてつ  
虎哲くん

むぎ  
麦ちゃん



パパ 龍之介さん

ママ 由衣さん



~ひよこぐみ写真館募集中です~  
詳しくは土佐町社協へお問い合わせください!

# 社協への福祉のご寄附

自: R3. 7. 1

至: R3. 10. 31

地区名	氏名	金額	備考
	匿 名様	20,000	香典返し
愛媛県	神岡末子様	50,000	香典返し
本山町	橋本和明様	米10kg	
本山町	藤原隆様	はがき	
立割	筒井和利様	100,000	香典返し
樺	伊藤勝也様	100,000	香典返し
	匿 名様	米15kg他	
田井	藤田光三様	米60kg	

以上の方々からあたたかいご寄附をいただきました。ありがとうございました。



10月1日から12月31日までの共同募金活動では、コロナ禍にもかかわらず多くの皆様のご支援・ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

皆様からお寄せいただいた今年度の募金は令和4年度の土佐町の福祉活動費として配分され訪問活動の経費やボランティア活動支援費として活用していきます。

赤い羽根募金は、たくさんの「ありがとう」につながっています。  
今後ともみなさまのご協力よろしくお願ひ申し上げます。

土佐町共同募金委員会 会長 和田守也



共同募金を活用して活動しています  
とんからりんの家  
~ありがとうございます~

コロナ禍でお休みもしましたが、感染予防対策をとりながら活動しています。参加することで元気ができます。これからもみんなで声をかけ、笑顔でいきいきと活動を続けていきたいです。

